

12月22日（火） 終業式

あらためましておはようございます。今日は終業式で、各クラブの表彰式も行いましたが、試合に行ったら勝ってくるという精神で、ほかの諸君も卒業までに一度はここで表象されるぞというくらいの気概で頑張ってもらいたいと思います。

いよいよ冬休みですが、冬休みにおいて諸君たちにとって大切なことはまず、朝はきちんといつもの時間に起きることです。とにかくこれは大切です。なぜか、それは、たまの日曜日にゆっくり寝ていたいというのは、それこそたまのことですから生活リズムを崩すようなことはありません。しかし長い休みの期間に、起床時間がいい加減になると、海外旅行に行っていたのと同じぐらいの時差が生じるからです。新学期の寒い時期に、生活のリズムが狂っていると元の状態に戻すのにとても時間がかかるし、それによって日々の学習の成果も下がってしまいます。高校3年生であれば、体調が非常に悪い状態で大学入試に向かわなければならなくなるのです。ですからこの冬休み期間はまず生活のリズムを崩さないことがなにより大切です。少なくとも現在起きている時間よりも30分以上遅くなることのないようにしなくてはなりません。できるだけ今起きている時間をきちんと守って一日の生活のリズムを維持することを心がけなさい。

次に、ほとんどの人が持っていると思われるスマートフォンの話です。この情報機器とどのように向き合うかということが大切な問題です。前にもお話したことがあります。僕は読売新聞で中室牧子さんという「教育経済学」の専門家の方と対談をさせていただきました。その中でコンピューターは、若者の頭に害を与えるという意見があるけれども、それは映画を見たら不良になるというのと一緒に迷信だとおっしゃっていました。コンピューターで遊ぶこと自体は、1日1時間くらいならマイナスではない。しかし、1日2時間以上だと明らかに学習に影響が出てくる。大量のデータを科学的に分析した上での確かな根拠のある話です。ですから、その機器に振り回されず自分を保つことが重要なのです。たとえばラインで、送ったメールが既読にされないから自分は相手にされていないのではないかと不安になりイライラするとか、返信することばかりに気を取られているうちに、時間が過ぎて勉強に一向に集中できなくなってしまうとかになりやすい。

かつて清風をきっちりした成績で卒業して、現役で難関大学に通った生徒について聞いた話ですけれども、彼はつきあいが悪いと友だちに言われていたそうです。なぜかというと、ラインでいくら挑発的なことを書いても3時間か4時間は返ってこなかったからです。彼のようにきっちりと、自制的にその機器とつきあえるかどうかということが、将来リーダーになれる一つの素養ではないかと僕は思うのです。

また、諸君たちには少し耳の痛い話でしょうが、大阪大学の池田新介教授は「行動経済学」を専門にされている方ですが、それよると長期休みで宿題の期日を守れなかった子供は、大人になってもたとえば貯金ができないとか、正しい予算生活ができないとか、禁煙ができなくて体調を壊してしまうとか、つまり自制できない傾向が著しいと述べています。諸君はそういうふうにならないように、宿題の期日をきっちり守るようにしなさい。ネット社会は実に誘惑の多い世界です。次から次へと情報を見てもらわないと商売にならないわけですから、つつい見ってしまうように仕組んであるわけです。それに誘惑されないよう自制できる人になるのではなくてはなりません。

話は変わりますが、一問一答式の問題で褒美をやるから頑張らなさいと言うと、これはインセンティブ（目標達成の刺激）になるといいます。しかし、非常に困難で混沌とした状況のなかで、問題と答えを見つけ出しなさいというのはインセンティブになるかわからない。

今年の順天堂大学の医学部の入学試験問題で次のような問題がでました。それは、ロンドンのキングス・クロス駅の写真で、地下の階段の上にコートを着た男性が向こう側を向いて背中を見せている。その階段の下には赤い風船が2つ結びつけられている。そして問題は「キングス・クロス駅の絵をみてあなたの感じる处を800字以内で書きなさい。」というものでした。何が問題なのか曖昧な状況に対して自分で問題を探し、それを解いていくという形式の難しい問題でした。普段の勉強でこういう形式の問題を頑張って解きなさいといわれてもインセンティブになるかどうかはわかりません。恐らく今後こういう傾向の問題が大学入試の問題になるのではないかと思います。

しかし、こういう問題でもインセンティブやモチベーションが上がるメンタリティとは何だろうか。それを僕は、ひとが社会の役に立ちたい、社会に貢献したいという情熱を持っていることではないかと考えるのです。世界が混沌としており、ひどく困難な状況の中からはさまざまな問題を自分で感じ取りそれに解決策を見つけていかななくてはならないのが現代社会です。自分をしっかり自制して、そして多くの人にお役に立とうという姿勢は、自利利他の精神です。あらゆる能力や知識を使って、多くの人のお役に立とうというのが清風魂ですから、このやりかたは困難な状況のなかで問題を見つけて、その解決策を編み出していくインセンティブになると私は考えます。今、世界は混沌とした時代ですが、そのなかでリーダーになっていくためには、さまざまな情報にふりまわされず、逆に情報を自分のために有効に活用して、自分の目的に向かって邁進することが大切です。これから休みが続きますから上手に情報とも向き合い、けじめをつけて自分の時間をきちんと作り上げられるか試すつもりで有意義な冬休みをすごしてください。元気で休み明けに会えることを祈っています。

また、時間のあるものは拝賀式にも来てもらいたい。拝賀式で、新たな一年をこういうふう頑張るぞというつもりで来てもらうのも大変意味のあることだと思いますので。

それでは私の話はこれで終わります。

(学校長)